

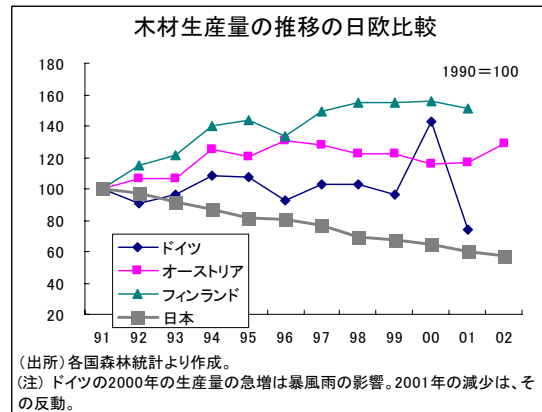
供給体制の整備について

2006/05/08
 富士通総研
 梶山恵司

1. 林業先進国の供給体制

(1) 安定供給の背景

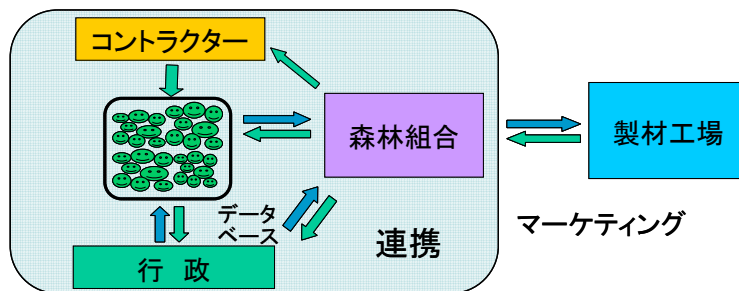
- ・ 先進林業国では、供給は安定。
- ・ 成長量の範囲内で伐採（伐採量 \leq 成長量）。
- ・ ドイツで7割前後。北欧では10割近い。
- ・ 非皆伐（ドイツ）、植林義務付け（フィンランド）。
- ・ 価格が需給調整機能。
- ・ 個々のレベルでは取り決め等は存在するも、マクロレベルではなし。
- ・ その前提としての採算性。



(2) 採算の成立する基盤

- ・ 路網（ドイツ 120m/ha、オーストリア 85m/ha）。
- ・ 木材生産システムの確立（傾斜、土壌、径級）。
- ・ フォレスターとコントラクターの連携。
- ・ 担い手の存在（ドイツでは農家林家・フォレスター、フィンランドでは森林組合）。

フィンランドの森林経営システム



日本林業の現状

